

高原の特徴と魅力

くじゅう連山は、標高 1700 メートル、東西 15 キロに広がる、5 つの火山群です。長者原は、これらの山に囲まれ、過去の火山活動による火山灰や噴火堆積物で形成されたエリアです。険しい山々を背景に、高原に広がる草原を見渡すには、最高の場所です。

長者原には、湿原、草原、そして山からなる独特の景観があり、登山者や観光客に人気です。くじゅうで唯一の活火山、硫黄山から立ち上る噴煙が今でも見え、横には三俣山と星生山が並んでいます。これは、長者原の象徴的な光景です。

また、この高原には、たくさんの淡水域という特徴もあります。タデ原湿原と坊ガツル湿原は、どちらもラムサール条約の「国際的に重要な湿原」に指定されています。季節ごとの野草や独特の生態系でも有名です。長者原ビジターセンターが発源地の遊歩道を歩くと、原生林からのどかな草原、火山群まで、この高原の特色を体験する、よい機会となります。